



東京都立六本木高等学校 学校だより

# ROPPONGI

第3号 令和8年3月24日

## 新たな1年の始まりに向けて

東京都立六本木高等学校  
副校長 室岡 誠一

あと1週間ほどで令和7年度が終わりを迎えます。この1年間皆さんはどのように過ごしたでしょうか？日々の授業や各種の学校行事にさまざまな思い出があると思います。目標に向かって努力したものの、うまく達成できなかったこと、初めての挑戦だったのにうまくいったこと、友人とうまくコミュニケーションが取れずつらい思いをしたこと、楽しく笑って過ごすことのできた時間、いろいろなことがあったと思います。

良くも悪くも、1年間を振り返ることは自分自身を成長させるためには必要なことです。それは、失敗をよくよく振り返るのではなく、同じことを繰り返さないための経験として自分自身を高めていくことにつながるのです。また、うまくいったことを当たり前と思わず記憶にとどめることは、今後判断を迫られる場面に接したときに、適切な判断をする力になるのです。

皆さん、ぜひ六本木高校で過ごした1年間の出来事を振り返り、自分の行動を思い起こしてください。すべて、これからの自分の生きる力になることです。令和8年度、その力を基に、自分自身を高めていきましょう。六本木高校は、皆さんを全力で応援していきます。

## 学校行事報告

### 【学習成果発表会】

3月13日（金）に1年間の学習のまとめとして、学習成果発表会を実施しました。前日に各年次・部ごとに行ったプレ発表で、優秀な発表であった生徒22名が代表として発表しました。それぞれの1年間の授業等に基づいてテーマを決め、問い立てをしながらテーマについて学びを深め、スライドにまとめ、発表しました。それぞれの発表はとても興味深いもので、六本木高校ならではの行事であったといえます。最優秀賞は3年次3組萩原優聖さん「一番パワポを作れる生成AI選手権」、優秀賞は1年次1組紀拓実さん「グラウンドを人工芝に変えよう!!!」と3年次6組唐澤遼樹「動物のへえってなるトリビア」でした。今年度から発表の合間に授業発表も取り入れ、和太鼓や日本舞踊基礎、今年度ニュージーランドへ行った海外派遣研修の発表も行いました。近年の大学入試（総合型選抜等）においても重要視されてきている探究学習にもつながるものとなりました。自分の興味・関心から学びを深め、次年度へつなげていってほしいです。



## 【芸術鑑賞教室】

1月23日（金）に東京室内管弦楽団による芸術鑑賞教室が行われました。前半は音楽史をもとに、バロック時代、古典派、ロマン派、後期ロマン派、近現代別に指揮者によるわかりやすい解説と演奏を行いました。ヴィヴァルディの「四季」では、ヴァイオリンソロによる「春」の演奏に、生徒は真剣なまなざしで聞き入っていました。モーツァルトの歌劇「フィガロの結婚」では、ソプラノ歌手の声量に驚き盛大な拍手が起こりました。後半は本校吹奏楽部とのディズニーメドレーの演奏や、立候補し選ばれた2名の生徒が指揮者の体験をさせていただき、指揮者によって演奏に違いがでることなどを実感しました。最後は合唱部を中心に全校生徒と校歌を合唱し、盛り上がりあつという間の90分間でした。演奏後も感動した生徒達がソプラノ歌手やコンサートマスターに握手を求めたり、一緒に写真を撮ったり、話をしたりしていました。生徒にとって素晴らしい思い出となる時間を過ごすことができました。

## 【令和7年度「東京都 笑顔と学びの体験活動プロジェクト」】

3月5日（木）令和7年度「東京都 笑顔と学びの体験活動プロジェクト」の企画でアフリカン・エクスプレスを鑑賞しました。演者のパフォーマンスもさることながら、アフリカ音楽の独特な音色に、日ごろ大人しい生徒も、笑顔で楽しそうに歌ったり、踊ったりしていたのが、印象的でした。

